

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 嶋村伸子

日時	2022年4月11日（月） 10時00分～14時30分	天候	晴時々曇	コース名： 第29回よりみちクラブ
案内団体 又は催事 名	京・洛南の地を巡る			人数 大人：22名

集 合：JR京都駅前のメルパルク京都 10時00分

ガイド：ならなぎ会員 山下裕章

行 程：駅前広場の羅城門の模型 10:00→伏見稻荷御旅所→綜芸種智院跡→東寺境内→昼食（八条児童公園）

12:15～45→六孫王神社→矢取地蔵尊堂→羅城門跡→西寺跡→JR 西大路駅 14:30解散
(全行程約 6 キロ)

出席者…木邨・玉尾（洋）・玉尾（ひ）・義田・澤井・村上・上森・山田（勝）・武田・伊時・福島・服部
森・米田・奥山・小田・神田・山口（新）・樋野・山下・嶋村・堀内（け）

計 22名

・羅城門の模型

かつて平安京の朱雀大路南端にあった羅城門を平安遷都 1200 年を記念して、宮大工組合により
制作された 10 分の 1 模型

・伏見稻荷大社御旅所

御旅所とは、お祭りの時にお神輿が立ち寄る場所で、伏見稻荷から離れた所に住む氏子さんの
為に神様が出張してくれる場所の事。お神輿が 5 基入る神輿奉安所がある。

・綜芸種智院

空海が庶民教育や各種学芸の総合的教育を目的に建てた日本最初の私立学校。
藤原三守（ただもり）から譲り受けた左京九条の邸宅に設置したと言われている。

・東寺

東寺真言宗の総本山。教王護国寺とも呼ばれる。

開基は桓武天皇により官寺として創建された。その後、嵯峨天皇により弘法大師空海に下賜
され、真言密教の根本道場となり、現在に至る。本尊は薬師如来。

*不開門（あかずのもん）東大門（重文）

南北朝時代足利尊氏と新田義貞が戦火を交えた折り、足利軍が東大門を固く閉ざし危機を
脱したことから。門にはその折の、矢の痕跡がある。

*五重塔（国宝）

高さ 5.5m。木造としては日本で最も高い建造物。

現存するのは江戸時代に建てられた 5 代目。

*金堂（国宝）

当初の金堂は空海に下賜される前からあったが、1486 年（文明 18 年）土一揆で焼失。
現在の金堂は、豊臣秀頼の援助により復興した。

堂内は薬師三尊像が安置されている。（本尊 薬師如来。脇侍 日光、月光菩薩）

*講堂（重文）

密教を学ぶ場であり、21 体の立体曼荼羅が安置されている。

密教の中心をなすという意味で、東寺の最重要建造物。

*御影堂 みえどう (国宝)

東寺造営に際して、空海の住居が置かれた場所。空海の念持仏である不動明王が安置されてその後、運慶の息子、康勝が「弘法大師座像」を制作して、ここに祀られるようになった。以後、大師堂とも呼ばれるようになった。

*灌頂院 かんじょういん (重文)

密教の奥義を伝える儀式を行う為の堂で、床は石畳、仏像は安置されていない。

「後七日御修法」ごしちにちみしほ、などが行われる。

「後七日御修法」とは、毎年正月八日～十四日までの七日間、世界平和や五穀豊穣を祈って行われる法会。

*蓮花門 れんげもん (国宝)

東寺の西側にある門。現在の門は鎌倉時代に再建されたもの。

空海が高野山に出発するときに、大師堂の不動明王が蓮花門で見送ったという伝承がある。

不動明王の足元や歩いてきた跡に蓮華が咲いたとも言われ、蓮花門の名の由来。

*六孫王神社 ろくそんおうじんじや

清和源氏の始祖、源経基（六孫王）を祀る。経基の住居跡に子の満仲が社殿を建てた。

桜の名所。

*矢取地蔵尊 やとりじぞうそん

東寺の空海と西寺の守敏の術比べで争った時に空海の身代わりとなった地蔵菩薩。

矢取地蔵の右肩には矢傷のあとが残っているという。

*羅城門跡

平安京の正門。

平安京の南端に羅城門、北端に朱雀門があった。

二重閣瓦屋根造りで正面33m、奥行き8m。

816年の大風で倒壊、再建されたが、その後の暴風雨で損傷してからは、再建されず。

芥川龍之介の「羅生門」で有名。

現在は花園児童公園内に石碑が建っている。

*西寺跡

平安京で羅城門の西側に東寺と同規模で建てられた官寺。

五重塔が焼失したのち徐々に衰退し、そのまま廃絶した。

唐橋小学校・西寺児童公園内に石碑がある。

昭和34年の発掘調査で金堂、南大門などの遺構が確認された。

(所感・雑感・反省点、申し送り事項など)

・山下さんのとても詳しい資料、説明、また所々に興味深い伝説などを聞かせていただき、晩春の洛南を満喫することができた。

ありがとうございました！

・また今回は新人の方、4名の参加をいただき、嬉しく思いました。

・反省すべき点としては、街中の案内は、一般の人の迷惑にならないように、広がらないように、列を組むようにする。

・今回は体が暑さに慣れていないかった上に、蒸し暑かったので、疲れた方も多かったように思う。

これから季節は、充分な水分補給とできるだけ、木陰での案内を心掛けたい。

(特記事項)

なし。

東寺 五重塔

